

Densho Bato

でんしょ鳩



公益社団法人
北九州市障害福祉ボランティア協会
〒804-0067
北九州市戸畑区汐井町1-6 ウェルとば6階
北九州市立東部障害者福祉会館内
TEL 093-882-6770 FAX 882-6771
E-mail:XLZ02133@nifty.ne.jp
URL:http://www.ksvk.jp/
◇郵便局振替口座/福岡 01740-4-8846
◇福岡銀行 戸畑支店 普通口座/2130527
公益社団法人北九州市障害福祉ボランティア協会

◇四月より障害者差別解消法が施行!
北九州市障害者差別解消法連絡会議
参加者のそれぞれの立場からのコメント

2~3P

▼障害者差別解消法街頭キャンペーンの様子



◆視覚障害のある方の外出支援 4P
ボランティア体験講座

ガイドボランティアサークル ゆう・あい 榎 正寿

◇2016街に出て行こうプロジェクト続報 4P

◆ボランティア物語 82 5P **好評連載中!!**
『母からのメール』 宮崎 浩

◇北九州市福祉のまちづくりネットワーク 5P

リレーレポート⑳

ありのままがあたりまえの暮らしに
北九州あゆみの会 宇野 久美子



▼障害者差別解消法連絡会議総会の様子



◆MYフレンド 6P

北九州市社会福祉協議会 磯田 佳宏

◇ボラ協からのお知らせいろいろ! 7P

◆第35回総会のお知らせ 7P

◇協会カレンダー 8P

座標軸

街中の信号表示が変わっていることにお気付きでしょうか?自動車が行き止まりにムーズに走行出来るように変わつたと聞きます。自動車を運転する者にとっても赤信号のまま直進と左折の矢印表示が出るのは慣れないのですが、左折可表示が出たと思いきや、左折しようとする直ぐに青信号の横断歩道があり、歩行者が渡っていてハッとすることがあります。



今のところ、まだ事故があつたとは聞きませんが、もし方が二にも、お年寄りや杖をついての歩行者、車いすでの歩行をしている方たちが渡ろうとしていて巻き込むことがあつたならと怖ろしくなります。歩行者もこのような所がありますから注意して渡らなければなりませんね。

(K.O)

四月より障害者差別解消法が施行! それぞれの立場からのコメント

平成28年4月より、施行される「障害者差別解消法」に向けた北九州市の取り組みに、ボランティア協会

【バリアフリー連絡会議】 北九州市難聴者 中途失聴者協会 理事長 神矢 徹石

も、北九州市障害福祉団体連絡協議会の事務局として、関わってきました。

いよいよ4月から障害者差別解消法が施行されます。これに先立つ1年間、北九州市障害者差別解消法連絡会議が開催されましたが、私は5つの部会のうちの1つ、バリアフリー連絡会議に出席させていただきました。バリアフリー連絡会議においては、障害者の視点から公共施設等の利用しやすさについて話し合われましたが、この会議を通じて、難聴者にとつてのバリアフリーとはなんだろうかと考えていきました。

今回の施行にあたり、その連絡会議に参加された構成員の方にそれぞれの立場から感じたことや、これから取り組んでいきたいことなどを伺いました。

バリアフリーといえば、段差の解消のような移動のバリアフリーを思い浮かべることが



多いと思います。それ自体は非常に重要なことですが、聴覚に障害のある難聴者にとつてはそれだけでは十分とはいえません。では、難聴者にとつてのバリアフリーとはなんだろうか。それは情報のバリアフリー、いわゆる情報アクセシビリティではないかと思えます。

公共施設や商業施設において、音声のみで連絡が行われることがよくあります。聴覚に障害があると音声に頼ることができませんので、図や文字・光などの方法で伝達する必要があります。難聴者が健聴者と同様に情報

を取得するためには、電光掲示板など視認できる情報伝達装置の設置や筆談・要約筆記の活用をしていただきたいと思っています。

コミュニケーションに対する不安から、正常な日常生活・社会生活が妨げられている難聴者も少なくありません。障害者差別解消法の施行により、難聴者のバリアフリーに向けた合理的な配慮がなされることを願ってやみません。

【普及啓発連絡会議】 北九州小規模連 NPO法人わくわく 理事長 小橋 祐子

今回参加した普及啓発連絡会議は、市民にこの法律をどのように普及啓発すればいいかを考える会議でした。会議では、企業や学識経験者、当事者団体などそれぞれの立場からの意見を聞くことができました。中でも企業の方がトップや担当者は解つていても、現場のスタッフやアルバイトにまで法律に沿った対

応の方法を徹底することは難しい、また、中小企業などではバリアフリーのための改修を手掛けることはとても大変なことだと悩まれていたのが印象に残っています。

わくわくでは、中央区商店街と協力して定期的なイベントを行っています。3月26日も「春のスウィーツ広場in中央町」を開催し、その中に設置した特設ブースで、障害者差別解消法についてのパネル展示を行いました。イベントにふらりと立ち寄った方も、展示物を熱心にご覧になっていました。市民に向け街の中から発信できる強みを生かし、この法律を啓発できたらと思います。

商店街の中には多目的トイレがなく、その設置にはスペースや費用の問題で物理的には限界があります。車椅子の方が来られた時には、少し離れた場所にある多目的トイレを案内しています。そういった場所を知っておくことやちよ

とした対応の仕方を市民の方にも知ってもらえれば合理的配慮にも繋がっていきます。

また障害のある知人に「あなたは障害があつて大変やけ、町内会に入らんでいいよ」と言われたと聞きました。本人はただ町内の人が気を使っ



てくれたのだと感じたようでしたが、町内会というコミュニティから外れてしまうと、必要な情報が入らないのではな

いかと心配になりました。こんな日常会話の中にも合理的配慮とはどうあるべきなのかを考えさせられます。

とを通して身近に感じ、具体的に考えてもらえるように啓発していきたい思います。

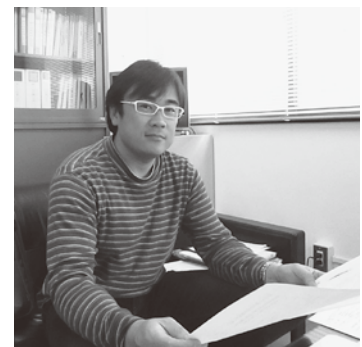
【事例検討連絡会議】

北九州市PTA協議会

副会長 坂井 学

今回、PTA代表としての「障害者差別解消法連絡会議」に参加できたことは、個人的にも意味深いものになりました。元々医療・福祉系の仕事に携わっていることもあり、普段の生活でも障害を持つ方との接点も多く、自分が何か役に立つことがあればと思っていました。仕事においては障害者の就労支援や実習の受け入れをしたり、PTAでは特別支援学級の保護者との関わりを日本PTA九州大会の佐賀県大会で演題発表させてもらったり、今では介護士の養成学校の外部講師として障害について教えていました。

そんな中、この会議に参加し、事例検討部会ということも多く事例を目にすること



となりました。法律上処罰に当たるとの否か、その線引きが難しいと思いましたが、それ以前に多くの苦情や相談が寄せられていることに驚きました。今回は公共団体や法人などの組織に対する法律ではありますが、根本的には個人ひとりひとりが障害のある方に対する認識を正しく持ち、差別をなくす努力をしなければなかなか変わらないと思えました。

この法律が施行され、少しずつでも市民全体が障害者に対して正しく意識して欲しいと思います。また、PTAとしても子ども達に障害者について正しく教えられるようになりたいと思います。

4月18日 障害者差別解消相談コーナーがオープン!

平成28年4月1日から施行されました「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(障害者差別解消法)」では、「障害者及びその家族その他の関係者からの相談に的確に応じるとともに、紛争の防止又は解決を図ることができる体制の整備を図るものとする」と規定されています。

そこで、北九州市では、障害の特性に詳しい専門相談員を配置した「障害者差別解消相談コーナー」を開設し、障害者等からの差別に関する相談を受け付け、事案の解決に至るまでの支援を行います。



【設置場所】

北九州市立男女共同参画センター・ムーブ8F
(小倉北区大手町11番4号)

電話:093-582-5515

FAX:093-582-5516

E-mail:s-kaishou@mail2.city.kitakyushu.jp

【受付時間】

平日/8時30分~17時00分

(土曜日、日曜日、祝日及び年末年始除く)

視覚障害のある人の外出 支援ボランティア体験講座

ガイドボランティアサークル

ゆづ・あい 榎 正寿

3月6日(日)、北九州市立西部障害者福祉会館に、募集定員20名を超える21名の受講者が集まり開講しました。

今年、西部障害者福祉会館と障害福祉ボランティア協会との共催で講座を企画しました。西部障害者福祉会館の安藤館長の挨拶、同じく会館の室元さんのアイスブレイクから始まり



講座では、当事者の方の役とガイド役、2人1組で実技を行うため、2人の共通探しを行いました。意外に共通するところがあり、意気投合し盛り上がりました。外出支援に必要な「移動」「情報提供」「食事」「排泄」の4つ支援を学習。楽しく学んでいた

けるよう、1000円を持ってコムシティ3階のマツモトキヨシで、おやつを買う体験を企画。1000円で買えるものが多く、チョコ、ポテトチップス、キー等、手に取りながらガイド役の情報を元に選びました。アイマスクの体験は怖かったとの声もありましたが、学んだ内容を通じて、実際に支援ができることが判り、参加してよかったとの声をいただきました。店舗内には一般のお客様もおられ、予定通りにいかないところもありましたが、怪我なく終えることができました。

とができ、ほっとしました。

受講後のアンケート結果も満足度が高く、主催者の振り返りでは、来年度も開催しようとして確認し、終えました。当事者講師の高崎さん、新垣さん、マツモトキヨシ、ユースステーションの方々のお蔭と感謝申し上げます。

**街に出て行こう
プロジェクト!
実行委員募集!**

2016 街に出て行こうプロジェクト、続報!

前号の「でんしょ鳩」でご案内した「街に出て行こうプロジェクト」の第一回準備会を3月19日開催しました。4つあった企画案の内、3つの「障害福祉の課題を知る」「会員同士の交流」「街へ出て行き市民へ呼びかける」を一つにしたイベントを企画しようと、集まったメンバーで話し合いました。福岡西方沖地震のあった3月20日が翌日だったこともあり、「防災」が話題になりました。地域に暮らすみんなの問題なので取り組みやすいかも…。

次回イベントの具体的な内容を話し合っ
て決めていきます。障害のある人もない人もみんなが安心して暮らせる街づくりに、みなさんの企画参加をお待ちしています。

プロジェクトリーダー 榎 正寿
プロジェクト事務局長 宇都宮 将之

**2016 街に出て行こう! プロジェクト
第2回準備会**
次回会合：4月23日(土)10:00~12:00
会場：ウェルとばた6階研修室6A
連絡先：北九州市障害福祉ボランティア協会

広告

SKC 会計グループ

税理士法人 SKC

税務代理業務 ・ 税務相談業務

グループ会社

〒806-0011 北九州市八幡西区紅梅二丁目9-16
TEL. 093-645-0129 / FAX. 093-645-0070
<http://www.skc-tax.or.jp/>

株式会社さかい経営センター 株式会社SKC計算センター
一般社団法人 相続・贈与相談センター北九州
(岩本英俊行政書士事務所)

宮崎浩さんは、当ボランティア協会の理事です。
このコラムは、宮崎さんの体験を通した思いをつづったものです。

ボランティア物語

-82-

母からのメール

宮崎 浩

ばあちゃんの携帯から孫に送られてきたメール。

「いけめんはこかんがかゆいらしいあんただじょうぶね」

これを解読するところ。「イケメンは股間が痒いらしいアンタ大丈夫ね」

この最高に愉快なばあちゃんとは、僕の亡き母のこと。

80歳にしてメールを楽しむ母だったが、段々と漢字変換ができなくなり、平仮名だけになっていった。

あれほど得意だった料理でも鍋をよく焦がし、味も愕然と変わっていった。

電気ポットに米を入れていた時なんかは、「ボケとるんか」と、さすがに怒った。

便座を下げず用を足したので、便器にはまって、もがいていたり、肌着のシャツを一生懸命に履こうとしたり、

そんな姿を見た時は、情けなくなつて母の前で泣いた。「アメージンググレース」の曲

で「涙そうそう」を歌っていたり、

郷さん」と声かけていたり、母のやること成すことに腹を抱えて笑った。

昔のことは憶えていても最近のことは全て「初めて」と言っていた母。

そんな母の介護は、「怒つて」、「泣いて」、「笑つて」の繰り返しだった。

それでも、夜中の介護はきつかった。眠れずに朦朧とした頭の中で、失禁した母を着替えさせていた時、別の感情がこみ上げてきた。「もう、勘弁してよ」と。

僕は疑う。在宅介護する者に監督責任を求めるよりも、国の責任は、どこにある。

ついには、メールはおろから電話をかけることすらもわからなくなつていった母。

でも、僕の携帯には母からのメールが保存してある。「頑張つてね。ははより」

北九州市福祉のまちづくりネットワーク

(J)レレレポート

ありのままがあたりまえの暮らしに

北九州あゆみの会

宇野 久美子

身体、知的と、ともに重い障害のある息子の外出時の移動手段は、ほとんどが私や家族の運転する車です。

日常の買い物ぐらいいなら二対二での対応で大丈夫ですが、少し遠出をするとなると、突然のけいれん発作や、他の緊急時の対応に備え、もう一人介助者が必要です。これが公共の交通機関を利用する機会が少ない理由です。

さらに、宿泊を伴う外出となると、荷物が増え宿泊先に送るといふことになり、この手間を考えると、よほど遠方ではない限り、車での移動ということになります。

外出先でのトイレの問題もあります。身障者用トイレ、多目的トイレ、みんなのト

イレ等、ネーミングは様々ですが、ベビー用のオムツ交換台しかないトイレが多いようです。大きなベ

ッドは、小さな子ども使えません。是非、大人

も使えるベッドを設置してほしいと思います。

公共の移動手段であるバスや、電車の低床化が進み、外出先での諸々の問題が解決し、みんなに優しい街になることを願っています。

前任者から引き継ぎ、まちネットの定例会に出席するようになりどれくらいになるでしょうか。

出席者の皆さんの、毎回の熱心な討議、特に視覚障害者団体の皆さんの、細やかな気づきには、頭が下がると同時に、自分の意識の低さに反省するばかりです。

ありのまま、あたりまえの暮らしができる街づくりを目指し、活動を続けたいと思います。



広告 明るく・元気に・前向きに!困ったときはお互い様

業務内容

資料の電子化・データ処理・ホームページ作成・アクセシビリティ検証・企画・デザイン・印刷各種・各種コピー・大型カラー出力・安全標識作成

障害者と共に生き活きと働ける職場づくりを実現するため、日々頑張っています!

三菱化学(株)100%出資特例子会社
有化成フロンティアサービス
 〒806-0004 北九州市八幡西区黒崎城石1-1
 TEL093-643-4390 FAX093-643-4393
<http://kfs.rsi.co.jp>



—北九州市社会福祉協議会
(以下、市社協)での仕事は—
地域福祉活動の支援が担
当です。

—市社協の役割は—
北九州市は先駆的に在宅
福祉関係のサービスを提供し
てきた市です。福祉電話や訪
問介護事業など市の単独事
業を市社協に委託され実務
的に行っていました。介護保
険など国の施策が整備され、
それらは民間に移行されて、
要援護者に対する直接的な
支援やかかわりから地域の活
動へシフトしました。関係者と
連携し地域づくり・地域を支
援することが主な役割です。

—ふれあいネットワークとは—
北九州市は政令指定都市
の中で一番高齢化率が高く、一
人暮らしの人も増えていま
す。昔のような地域での顔の

見える関係が薄くなつてき
ました。一人暮らしの高齢者・
障害者等の定期訪問を区社
協・校(地)区社協と二緒に行
つています。校(地)区社協で
は福祉協力員が見守り活動
を、民生委員がより専門的
な支援を必要とする人を担
当します。地域で孤立しない
ような支援

あいのサロン
として、ふれ
あいサロ
ンは一五四小
学校(地)区
のうち一〇
六校(地)区
で取り組
み、また高
齢のため外
出が困難になつてくるので、
なるべく町内で活動できる
ように二六八ヶ所で居場所づ
くりに取り組んでいます。

—難しいと思うことは—
仕事をしていた時間がなが
いや、地域に関わりたくない
と考える人もいて、福祉協力
員の選任が難しくなっていま



北九州市社会福祉協議会
磯田 佳宏 さん
福祉のまちづくりをお手伝い!

す。支援が必要な人を見つ
けた時は専門職や関係機関
を動かしやすい「いのちのネッ
トワーク」につなぎます。社
協だけでは解決できないこと
は、関係機関で役割分担を
することが重要です。

—ボラ協との関係は—
ボラ協や障害福祉団体連
絡協議会

—これから取り組むことは—
国は地域包括ケアシステム
の構築とか総合事業とか地
域での支援の取り組み強化
を図っていますが、地域の課
題に対して住民ができるこ
とを整理し、住民が納得して
活動できるようにすること
を、今年一年の課題として取

り組みたいと思っています。
—障害者差別解消法連絡会議
のメンバーでもありますね—
私の参加した普及啓発連
絡会議は障害者団体・学識
経験者・医師会・商工会議所・
社協で構成されています。三
月二十六日の総会で二応連絡
会議の活動は終了です。障
害者を中心とした差別解消条
例を作るべきかどうか勉強会
を始めたいです。具体的にど
ういうことが差別にあたるの
かが市民にも分かりやすく
なつたらいいと思います。四
月からはムーブの人権啓発セ
ンターで相談員が相談対応を
することにします。

—趣味は何ですか—
妻と中学二年生の娘とド
ライブをすることです。昔の
街並みを見るのが好きです。
印象に残った街は大分県の
杵築市でした。整備されてい
ますが、観光地化されておら
ずともいい街でした。

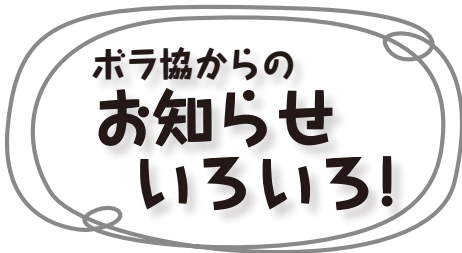
* * *

聞き手 森山 幸恵

広告 車いすが使える住まい 住まいの建築から福祉機器までトータルに
高齢者・障がい者(児)の方々のための住まいの設計・施工
(ホームページに事例を掲載しております。)

株式会社 神崎工務店 TEL (093) 921-5562
福祉住宅専門店 気軽に相談下さい

新築・リフォームから小さな工事まで



常設バザーコーナーできました!

ボランティア協会の入口のすぐ左側に常設バザーコーナー「障害のある人の社会参加応援バザー」ができました。

わっしょい百万夏まつりやふれあい広場のバザー品をいつでも見られます。時々商品の入れ替えもしますので、皆さんぜひボラ協にお立ち寄りください!



見えない・見えにくい人のための 福祉機器展 in 北九州 2016

毎年大好評の視覚に障害がある人のための福祉機器展が今年も開催されます。

この機器展では、日常生活に便利な生活関連コーナー、パソコンやスマホなどの情報機器関連コーナーなどがあり、セミナーでは盲導犬体験や相談窓口の案内などを行う予定です。パソコンサポーターの相談も受け付けています。視覚に障害がある人だけでなく、支援をされる方にも役立つ情報がたくさんあるので、ぜひご来場ください!

日時：平成28年6月12日(日)

会場：北九州市立西部障害者福祉会館
北九州市八幡西区黒崎3丁目15-3
コムシティ5階

平成28年度 第35回 定期総会のお知らせ

ボランティア協会の明日を決める大事な総会です。
正会員の方でなくても、ぜひご参加ください!

日にち 平成28年5月21日(土)

時間 13時30分~16時30分

・定期総会 ・分かりやすい差別解消法(寸劇)

会場 ウェルとばた7階連絡事務室大
(戸畑区汐井町1-6)



広告



- 建築工事
- 土木工事
- 解体工事
- 産業廃棄物収集運搬
- 引越し作業
- 運送運搬作業
- 遺品整理
- その他作業全般

花田商会
〒804-0031
北九州市戸畑区東大谷2-10-4
TEL:093-881-8133 FAX093-881-8139

ご協力・ご提供ありがとうございました。(敬称略)

○ご寄付(公益社団法人への寄付は、寄付控除の対象となります)

大串 信義 鹿子嶋初美 倉本 良子 中原 祐子
中村紀美子 西村 邦子 原田 秀幸 松本 健司

○使用済み切手・テレカ・ハガキなど

柏原やすみ 佐野 哉夫 下田 猛 白濱テルヨ
竹内 隆夫 三浦 絹子

鹿島道路(株) SKC会計グループ

(株)遠藤商会 黒崎整形外科病院

(株)東和防災システム 福岡県保護観察所北九州支部

北九州市立点字図書館 若松区役所総務企画課

北九州市立永犬丸市民センター

北九州市人権問題啓発推進協議会

北九州市障害者基幹相談支援センター

事務局からのお知らせ

☆登録更新のお願い☆

新年度になりました。
会員の登録更新の手続きを
お願いします。

◆正会員・年会費

個人/3,000円

団体/4,000円

◆賛助会員・年会費(一口)

個人/3,000円~

団体/4,000円~

*同時に、ボランティア協会を
一緒に支えてくださる新規
会員さんも大募集していま
す。

ボランティア登録者の更新

新規登録者

☆大募集!!!☆

ボランティアの募集やイベ
ントなど、タイムリーな情報
を不定期に発信しています。

携帯電話かパソコンから
本文に、お名前と「メール登
録希望」と入力し

下記アドレスまで送信してく
ださい。

XLZ02133@nifty.ne.jp

詳しくは
事務局まで



協会カレンダー

4月

7日(木) 西南女学院大学福祉学科向けオリエンテーション

8日(金) 福祉のまちづくりネットワーク点検活動(城野周辺)

10日(日) 「イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン」贈呈式

11日(月) 地域支援コーディネーター養成研修(古賀)

15日(金) 会報第204号発行

16日(土) 車椅子バスケットボール大会ボランティア交流会

23日(土) 街に出て行こうプロジェクト準備会②

28日(木) 北九州市障害福祉団体連絡協議会常任委員会

5月

6日(金) 定例理事会

11日(水) 常任委員会

18日(水) 北九州市福祉のまちづくりネットワーク定例会

19日(木) 障害者の余暇支援者連絡会

21日(土) 第35回定期総会

29日(日) 北九州市障害者スポーツ大会(後援事業)

6月

4日(土) 北九州市障害福祉団体連絡協議会 定期総会